

# HELLOくさんぎ

NO.6

2021年2月発行

発行／一般社団法人草薙カルテッド

企画編集／文化教育事業部

協力／有度地区まちづくり推進委員会

問い合わせ先／事務局070-1616-4055



一般社団法人草薙カルテッドが実施主体となり、2020年8月よりJR草薙駅南口イベント広場へ草薙商店街通りのエリアで、公共空間を活用した「おもてなしの空間づくり」の社会実験を実施しています。今年度の社会実験では、草薙のまちなかに、「地域の新しい魅力」や「地域住民や地元学生など訪れる人の居場所」誰でも気軽に利用できる空間として、「①交流・滞留のベンチの設置」「②賑わいを創出する店先空間の活用」「③公共空間への屋台の設置（出店は不定期）」「④夜間でもまちなか人気（ひとけ）を感じ、歩行空間を確保する」といった「新しい生活様式」に対応する道路の占用地許可基準を緩和したことを受け、十分な歩行空間を確保する方針を設置し、テークアウトを設置することで店先のオーブンテラスが行なわれるようになりました。

照明家角館先生の指導のもと、草薙駅の下、地域学の生とともに草薙駅

KUSANAGIまちなかオープンテラス草薙商店街まちづくりプロジェクト 社会実験2020～を開催しています！一般社団法人草薙カルテッドが実施主体となり、2020年8月よりJR草薙駅南口イベント広場へ草薙商店街通りのエリアで、公共空間を活用した「おもてなしの空間づくり」の社会実験を実施しています。今年度の社会実験では、草薙のまちなかに、「地域の新しい魅力」や「地域住民や地元学生など訪れる人の居場所」誰でも気軽に利用できる空間として、「①交流・滞留のベンチの設置」「②賑わいを創出する店先空間の活用」「③公共空間への屋台の設置（出店は不定期）」「④夜間でもまちなか人気（ひとけ）を感じ、歩行空間を確保する」といった「新しい生活様式」に対応する方針を緩和したことを受け、十分な歩行空間を確保する方針を設置し、テークアウトを設置することで店先のオーブンテラスが行なわれるようになりました。



南口から商店街通り、さらに南幹線南の三角緑地まで、ライトアップすることが出来ました。また、10月2日にはJR草薙駅北口広場にて「KUSANAGIまちなかオープンテラス-Special Version-」を開催し、駅前通りだけで終わらないより広範囲を対象とした試みも始まっています。今後の社会実験では、2017年に工学院大学遠藤研究室によるまちづくり提案として示された「草薙商店街まちづくりプロジェクト」及び、2018年に南口地区全体のまちの将来像・まちづくりの基本方針を示した「JR草薙駅南口グランドデザイン」の実現に向けて、商店街通りの道路再編等の円滑な事業推進につなげるための効果検証も実施します。

## 南口イベント広場・北口芝生広場のイベント利用を受け付けます！

草薙カルテッドでは、草薙駅南口イベント広場と、北口芝生広場を利用するイベント等の申し込みを受け付けています。フリーマーケットやマルシェ、展示会などご希望がある方は草薙カルテッドまでご連絡ください。

連絡先 TEL:070-1616-4055（カルテッド事務局）  
Mail:info@kusanagiculted.or.jp/HP:https://kusanagiculted.or.jp

**草薙**  
Culted



草薙駅南口スクランブル交差点に面する場所に、学生と、地域や地元企業をつなぐマッチングスペースが2021年4月にオープンします。

2021年4月OPEN!

**学生×地域×地元企業をつなぐマッチングスペース**



学生にとってのサードプレイスとして「サードプレイス」とは自宅（ファーストプレイス）でも職場・学校（セカンドプレイス）でもない、自分にとって心地の良い時間を過ごせる第三の居場所のことです。草薙駅周辺には、静岡県立大学草薙キャンパス、常葉大学草薙キャンパス、瀬名キャンパスが存在し、多くの学生が行き来していますが、多くの学生にとって地域の中にサードプレイスがない、大学と自宅の往復のみとなっていました。このマッチングスペースは、Wi-Fi、プロジェクター、スクリーン、ドリンク等の設備を整えた快適で便利な空間となつており、学生は無料で利用することができます。



学生と地域・地元企業のハブとして「社会貢献したい」「大学で学んだ知識を実践の場で活用してみたい」「普段の就活では聞けない企業やキャリアの話を聞いてみたい」等、学生は様々なことを考えています。既に自分で学生団体を立ち上げて活動している学生や、起業に挑戦している学生もいます。この場所を利用することで、地域・地元企業につながることで、学生の活動やチャレンジをサポートします。学生にこの場所を立てるにあたっては、経験や学びの場となり、地域・地元企業につながります。また、通常の就活とは異なる企業との接点を持つことで、多様な社会人とのかかわりがあります。つまり、学生がキャリアを考える際の視野を広げることにつながります。詳細は草薙カルテッドのホームページで発信していきますので、ぜひご覧ください。

ことができます。課題や、学生団体のミーティング等の作業場所として利用してもらうことで、学生の皆さんにとっての、地域の中のサードプレイスとなることを目指します。

草薙駅南口スクランブル交差点に面する場所に、学生と、地域や地元企業をつなぐマッチングスペースが2021年4月にオープンします。

2021年4月OPEN!

**学生×地域×地元企業をつなぐマッチングスペース**

## 文化教育事業部

## つながるくさなぎ実行委員会

# 草薙 謎解きワーキングオーリーク

第4弾

つながるくさなぎ実行委員会

つながるくさなぎ実行委員会

## 安心安全事業部

# 防犯力カメラと 自販機

## 草薙商店会

## つながるくさなぎ実行委員会

商店街編「消えた剣」

つながるくさなぎ実行委員会は、コロナ禍で毎年開催していた夏フェスが行えない状況の中、なんとか草薙商店街を活気づけたいと考えて、例年行っていた「草薙謎解きウォーク」を商店街で開催してみようというこ

とにになり、草薙カルテッドとタツグを組んで企画しました。参考者が密にならないように、開催期間を10月3日から一ヶ月とし、いつでもだれでも参加できることになりました。また、商店会から豪華景品を多数出していただけたこともこのイベントが成功した大きな要因です。ホームページに参加者の感想をWEBページに書き込んでいただいてます。

「小学生と一緒に参加しました。以前より解きやすくなつていてとても楽しくできました」「親子で楽しめるイベントでした。子どもに地域のことを学ばせる良い機会だと思います」「お店のマーク探しが宝探しをしていました」「和菓子がおいしかった」「和菓子です！」などなど、おおむね好評をいただきました。

肝心の謎の作成については、静岡サレジオフューチャーセンターの高校生に協力を願って、地域の人と一緒に商店街を散策してもらいました。小学生でもがんばれば解けるようになります。問題を作つていただきました。今度は多くの人に参加してもらいたい、全員が正解にたどり着けて達成感を得られることが重要と考えて、募集もチラシだけでなく、ホームページや、FBなどをSNSを活用して



現在、草薙地区には、静岡県立大学、常葉大学、静岡サレジオ、そして、地元の小・中学校があり、常葉大学草薙キャンパスには4千人の学生が集まり、文教地区として、ますます若い人が増えました。こうした若者たちや子ども達を狙った不審者が出没し、事件を起こさせないように、防犯カメラの運用が必要不可欠です。

そんな理由で、2019年4月、JR草薙駅北口イベント広場の一角に自販機2台を設置し、そこから、北口駅前ロータリーに向けての防犯カメラを作動させました。この防犯カメラの設置費用とランニングコストは、ダイドードリンコ(株)様の協賛で賄っています。このことは、ダイドードリンコ(株)様のCSR(企業の地域貢献)を活用させてもらい、「草薙カルテッド」が自販機を設置することで、その収入を地域に還元する事ができています。また、自販機の売り上げの一部を「公益財団法人ふじのくに未来財団」に寄付しています。

是非、「草薙カルテッド」の自販機での飲料の購入を、よろしくお願いします。

**草薙から花と笑顔をお届けします**

**花勇 HANAYU 草薙**

〒424-0886 静岡市清水区草薙1-7-1 TEL 054-368-5187 FAX 054-348-9773  
草薙駅南口交差点すぐ

12月19日(土)草薙商店会歳末謝恩セールに合わせて「つながるくさなぎ冬フェス」を開催しました。今回は働く車大集合として、消防車やショベルカー・フォークリフトが並べられ子ども達に大人気でした。

つながるくさなぎ冬フェスは、12月19日(土)に草薙駅南口イベント広場で開催されました。今年は、働く車大集合として、消防車やショベルカー・フォークリフトが並べられ、子ども達に大人気でした。

**Bistro allegro assai**  
ビストロ アレグロアッサイ

ランチ & テイクアウトもやってます

Omelette rice  
Hamburger

〒424-0886 静岡市清水区草薙1丁目8-20  
さかえビル2階【月曜定休日】  
TEL 054(348)9000  
<https://allegroassai.gorp.jp>



## 文教トピックス

サレジオ

### 静岡サレジオ 「草薙フューチャーセンター」

静岡サレジオ高校の草薙フューチャーセンターは、「草薙のまちづくりに参加する」という目的をもとに活動を続け、設立から丸4年が経とうとしています。地域の皆様のご支援とご協力により、毎年活動をグレードアップさせることができます。今年は新型コロナウイルスの影響を受け、例年通りの活動をすることが難しくなっていました。それでもそのような状況下で、「草薙謎解きウォーク」と「うど☆ハロウィン」のお手伝いができた事をとてもうれしく思います。

「草薙謎解きウォーク」では、私たちは『謎解き』の問題を考えさせていただきました。問題を作るためにはまず自分たちが草薙のことをもっと知るべきだ!と思ったので、皆で草薙の街を廻ってみました。いつもとは違う視点で、問題に絡められるところはないかな、と考えながら歩いたことで、普段ならば気が付くことのできなかった草薙の魅力を発見することができました。当日、担当させていただいた受付では、ご参加下さったお客様方の楽しんでいる姿を見ることができ、素敵なイベントになったと感じました。ご夫婦や親子連れなど幅広い年齢層の方にご参加いただいた中で、「問題が難しい~」と言っている子どもの姿も見られたので、来年はより多くの方に参加していただき、もっと楽しんでもらうために、進化させていきたいです。



「うど☆ハロウィン」では、コロナ禍のため全員マスク着用での実施になりました。しかし、子ども達がマスクも仮装アイテムの1つに見せてしまうようなアイデア溢れるコスチュームを着て楽しんでいる姿を見て、少し寒い日でしたが心がほっこりと温まりました。色々な活動が制限されている中で、マスクをつけていても、また手渡しあげなくても充分にワクワク感を共有できることが分かり、今後の活動への期待が高まりました。

現在草薙フューチャーセンターでは、TOKAI ケーブルネットワークと清水エスパルス、静岡市と協力して「パルクル」というシェアサイクリング事業を活用したまちづくりに取り組んでいます。私たちにとってはどの活動も他では経験することのできない貴重な経験です。高校生でできることはあまり多くはありませんが、いつか草薙のまちづくりには静岡サレジオの草薙フューチャーセンターの力が必要だと言っていただけるように、最善を尽くして活動を続けたいと思います。

(静岡サレジオ草薙フューチャーセンター  
勝又真凜・三室夏海)



常葉大学

### 常葉大生と県大生が連携して イベントを開催

県立大学



学生企画イベント「つながるくさなぎフェス～私とあなたと草薙で～」11月29日にJR草薙駅周辺で「つながるくさなぎフェス～私とあなたと草薙で～」を開催しました。

今秋は新型コロナウイルスの影響により、学祭が中止になってしまい学生の活躍を披露する場や学生や地域が交流する機会を失ってしまいました。そこで、学生と地域住民、商店の交流できる場を作りたいと考えました。

本イベントは、草薙カルテッド、静岡県立大学のK-commu(けいこみゅ)、地域コラボプロジェクト、常葉大学の学友会執行部が連携し、企画しました。

新型コロナウイルス感染対策のため、イベント会場を3つに分けました。草薙駅北口イベント広場には学生のパフォーマンスを披露。(おどる草薙エリア) 参加団体は、県立大学と常葉大学の学生が協力してくださいました!

草薙駅南口の草薙商店街通りには出店エリア(キッチン)を設け、草薙地域のお店に協力・出店していただきました。また出店エリアでの密を防ぐために、南口イベント広場にはパフォーマンスのLIVE配信と飲食スペース(くつろぐ草薙エリア)を設けました。



コロナ禍でも人と接する楽しさを感じられる空間を作るために、JR草薙駅にもご協力頂き、様々な人と「つながる」ことを実現できたと思います。参加者が安心、安全にイベントを楽しめるよう学生同士で感染対策を徹底しました。多くの方のご協力により、当日々1000人を越える来場者がイベントに参加してくださいました!ありがとうございました。

以下は各大学の代表者の言葉です。

「まずは、無事にイベントを開催できたことにホッとしています。コロナ禍だからこそ人の繋がりが大切であり、オンラインでのイベントを開催することに意味があると思っていました。今回は、県立大学や草薙地域の人だけでなく、常葉大学の人とも一緒に「草薙」で企画できたことを本当に嬉しく思っています。」(静岡県立大学 学生)



「今回のつながるくさなぎフェスで地域の方、静岡県立大学の学生とつながることができた。これから時代を僕たち学生で引っ張っていくためにも、この草薙の地でどんどん新しいことに挑戦していくたいと思います。」(常葉大学 学生)

(静岡県立大学K-commu代表 山本怜)  
(常葉大学学友会会长 西川莞人)

—ここにしかないかたち、ここにないものも。—

**耐震構法**  
**SE構法**

株式会社アキラマ

みなさまに愛されて創業50周年

住宅部 tel.054-345-1735

安心してお買い物をしていただくために  
**コロナ感染対策強化中**

貸切り予約をご利用ください。

**054-368-7772**

S S S級認定眼鏡士の店

JR草薙駅 ← 静岡 駅 静鉄草薙駅 南幹線

**快適ライフ、お届けします**

**草薙駅前**  
**(株)伊藤電気**  
Tel/Fax 054-345-0837  
ito-denki.jp

●家電販売・施工・修理・電気工事 ●照明プランニング・施工  
●一般家庭用エアコン～業務用大型空調機販売・施工  
●アンテナ共聴工事・CATV工事 ●電話・インターネット配線

## 有度地区まちづくり推進委員会

# まちづくりくくり通信

## 交通弱者対策事業

ここにあります！

# 避難所運営委員会です

HELLOくさなぎ



草薙テラスの開催日は、毎月第1～第4曜日(祝日・年末年始は除く)  
9:45～11:45迄。山の手自治会館・草薙奥自治会館・谷田自治会館・草薙西自治会館別館を、各自治会様のご協力によりお借りして行っております。

草薙テラスでは、おしゃべりOK・手芸OK・なんでもOKで、基本自由に過ごせます。折り紙・編み物・囲碁・ボードゲーム・bingoゲーム、お庭でバラリソップピック競技のボッチャを体験。民生児童委員による相談活動も行っています。



共催  
・ 有度地区社会福祉協議会・有度地区まちづくり推進委員会  
・ 有度西地区民生委員・児童委員  
協議会



出発前の利用者と運転車両

令和2年度は、年度当初からコロナ感染症の自粛要請を受け、まちづくり関連の多くのイベントが中止となってしまいました。非常に残念に思います。しかし、そんな中でも感染症対策をとりながら、地域のためにがんばってくれている団体があります。今回はそんな皆さんをご紹介します。

草薙テラスは、はじめまして、草薙テラスです。有度ではじまる新しい支え合い活動として、昨年8月にスタートしました。赤ちゃんと高齢者迄、誰でも寄れる・過ごせる・相談できる「コンセプト」で、みんなが集まり、有度を照らす(テラス)活動です。

夏休みや小学校の給食の無い日には、子どもランチを開催しています。そこでは地域の皆様からご提供頂いた食材を活かして、保健所のご指導の下栄養士を交えて調理を行っています。

食後の休み時間には子ども達が自主的に宿題をやり、その後は地域の方のご指導で制作活動。bingoゲームの景品もシニアクラブの皆さんの手作り品もあり、私達がお願いしなくても様々なお申し出を頂き、有度の力を感じる事ばかりです。この子ども達が将来また、有度地区の為に力を貸してくれる大人に成長してくれる事でしょう。

「良い」ことを始めてくれたね！」「来週も楽しみにしているね！」「美味しかった、有難う。また色々作りたいし皆と遊びたい！」の声をたくさん寄せています。

是非皆さん遊びにいらして下さいね。お待ちしています！

(文責 川口佐千子)



草薙つづじヶ丘自治会（会長池田茂）は、7月1日から「お出かけサービス事業」を始めました。

近年、高齢夫婦世帯、高齢独居世帯が増加する等自治会員の高齢化が急速に進んでいます。草薙商店街等への距離は、2キロメートル余と比較的短いのですが、起伏が激しく、高齢者にとって、買い物のお出かけは、大きな負担となっています。

このようなことから、自治会として様々な支援策を検討してきましたが、このたび静岡市の補助事業を活用し、「お出かけサービス事業」を始めました。

補助事業を活用し普通乗用車（ワゴン車）を導入、会員から運転ボランティアを募り（20名）、利用会員の登録を行い（21名）、週2回、草薙つづじヶ丘と草薙駅間を運行しています。安全第一を掲げ、また、運行車両には、マスクや消毒用噴霧器を備え付ける等新型コロナ感染防止に努めています。

始めました



防災会と zwar ていました。単位自治会の第一自主防災会と違い、有度地区全体の防災について考えた組織であります。第二自主防災会は四年前に誕生し、青木政夫さん（楠新田）、奥（吉川）、池田敏之さん（草薙団地）の連担当の下、活動を続けてきました。

ここにちは、有度地区連合災会避難所運営委員会であります。皆さんにはこの団体名を耳にしましたことがあります。いかにもそれもあり聞きました。

防災会は四年前に誕生し、青木政夫さん（楠新田）、奥（吉川）、池田敏之さん（草薙団地）の連担当の下、活動を続けてきました。現在の避難所運営委員会は、ボランティアのスタッフで構成されています。初代は筒井宝子さん（堀込）、二代目の小泉肇さん（中之郷）が今、会長を務めています。スタッフは現在33名で、避難所運営に特化し、避難所運営のマニュアル作りに力を入れ、次代を担う若い人（七中生や有度一小、有度二小の児童たち）の防災教育も大切にしています。

11月15日は有志で静岡県地震防災センターの見学に行つきました。そこでコロナ禍を踏まえた避難所運営の在り方を学び、震度七の地震体験をし、改めて防災の大切さと、私たちの目指す活動の必要性を感じました。

12月6日の防災訓練では、三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）と、市の有度地区支部（行政）との合同で、救護所訓練をやる予定でしたが、コロナの影響で直前に中止になってしまいました。しかし、事前に打ち合わせなどで一步前へ進んだ感触を得ました。今後の協力に期待しています。

